

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく再エネ出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量等（エリア需要予想、連系線活用量）を上回ることが見込まれたことから、余剰電力を満たす発電事業者さまに対して、以下の内容で、出力抑制の指示等を行いました。

2022年度実績

〔2022年5月16日現在〕

[MW]

通し番号		1	2	3	4				
出力制御内容	発信日	4月29日(金) 17時頃 (前日指示)	4月30日(土) 実績 (速報)	5月4日(水) 16時半頃 (前日指示)	5月5日(木) 実績 (速報)	5月7日(土) 15時半頃 (前日指示)	5月8日(日) 実績 (速報)	5月14日(土) 17時頃 (前日指示)	5月15日(日) 実績 (速報)
	再エネ出力制御期間	4月30日(土) 10時00分～13時00分	出力制御なし	5月5日(木) 10時30分～12時30分	出力制御なし	5月8日(日) 11時00分～12時30分	5月8日(日) 12時30分～14時00分	5月15日(日) 9時30分～14時00分	5月15日(日) 12時00分～14時00分
	最大余剰電力発生時刻 ^(注1)	12時00分 ∩ 12時30分		12時00分 ∩ 12時30分		11時30分 ∩ 12時00分	12時30分 ∩ 13時00分	12時00分 ∩ 12時30分	12時00分 ∩ 12時30分
	再エネ出力制御量	0～175		0～72		0～105	188	0～223	201
	再エネ出力制御必要量 ^(注6) (5)=④-①-②-③	175		0		72	0	105	188
予想需給状況	エリア需要 ^(注2) ①	2,495	2,776	2,527	2,544	2,551	2,618	2,458	2,736
	大容量蓄電池の充電・揚水運転 ^(注3) ②	824	630	824	658	824	622	824	522
	域外送電 ^(注4) ③	▲ 196	▲ 270	▲ 425	▲ 431	▲ 305	▲ 434	▲ 420	▲ 413
	小計	3,123	3,136	2,926	2,771	3,070	2,806	2,862	2,845
	供給力 ^(注5) ④	3,298	3,136	2,998	2,771	3,175	2,994	3,085	3,046
	(再掲)再エネ出力	(2,006)	(1,664)	(1,804)	(1,598)	(1,910)	(1,570)	(1,869)	(1,566)

(注1)実績（速報）は制御量最大となる時間帯

(注2)最大余剰電力発生時刻におけるエリア需要

(注3)揚水発電所を最大限活用

(注4)北海道一本州間連系線を最大限活用し、域外送電（マイナスは本州エリアからの受電を指す）

(注5)優先給電ルールに基づき火力発電等を最大限抑制

(注6)再エネ出力制御量の増減については、需給状況を踏まえ遠隔制御が可能な事業者にて対応